

かせつじゅうたくを ^{つく}作る しごと

^{あさ}朝の ^じ5時に ^{おこされ}おこされ、じじの ^{とらっく}トラックに のって
^{ふたり}二人で、^{いし}石のまきに ^{むか}むかって ^{しゅつ}出ぱつしました。

トラックには、かせつじゅうたくの やねと やねを
とめる ^{なつと}ナットをつんで ^い行きます。

^{まつしま}松島だい五小学校の ^{ごしょうがっこう}校ていの 4ばい ぐらい てっかい
^{やま}山の ^{うえ}上の ^{あき}あき地に、^{あた}新しい ^{じゅうたく}じゅうたくを作っ
ていました。じじが ^{ろうぶ}ロープを ^{はず}はずして ^{くれえん}クレーンの
^{わいやあ}ワイヤーを ^{にもつ}にもつに ^かかけて ^{おろ}おろします。

すごく ^{あつ}あつい ^{なか}中、^{えあこん}エアコンを ^と止めるので
まどを ^{ぜん}全かいにして やります。それでも ^{あつ}あつくて
あつくて、^{あせ}あせだくになつて ^{はたら}はたらいて います。
みんな ^{いそ}いそいで います。つなみて ^{いえ}家を ^{なが}ながされた
^{ひと}人たちの ^{ため}ために、みんな ^{いっしょう}一生けんめい ^{はたら}はたらいて
いました。あつい ^中中、^人人の ^{ため}ためにはたらくつて、
すごいなあと ^{おも}思いました。

じじや ^そそういう ^{しごと}しごとをして いる ^人人たちは、
^{ほんとう}本当に ^{すご}すごいです。

じじや ^ああの ^{あつ}あつい ^中中、^{こま}こまっつて いる ^人人たちの
^{ため}ためにはたらいて いる ^人人を見^みて、^そそういう ^人人の
^{ため}ために ^{なる}なる ^{しごと}しごとを ^ししたいと ^{おも}思います。

(作文宮城 60号 特別編「あの日の子どもたち」より)

